

令和5年度 あじさい療育支援センター 自己評価表【職員向け】

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	計
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	21	1	0	22
	2	生活空間は、児童にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、個々の特性に応じ、センターの設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	16	6	0	22
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童の活動に合わせた空間が用意されているか。	19	3	0	22
	4	職員の配置数は適切であるか。	12	7	3	22
業務改善	5	広く職員が参画して、業務改善に向けた検討や取り組みがされているか。	16	6	0	22
	6	保護者向けアンケート等により、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	21	1	0	22
	7	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか。	16	4	2	22
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	22	22
	9	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか。	22	0	0	22
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、「個別指導計画」を作成しているか。	21	1	0	22
	11	「個別指導計画」に沿った支援が行われているか。	20	2	0	22
	12	活動プログラムの立案にあたり、話し合いを行っているか。	19	3	0	22
	13	活動プログラムは固定化しないよう工夫され、個別活動と集団活動が適宜組み合わせられているか。	18	4	0	22
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	18	4	0	22
	15	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	3	0	22
	16	日々の支援に関して記録し、支援の検証・改善につなげているか。	17	5	0	22
	17	児童の適応行動の状況や、発達の段階等を把握するために、標準化されたツールを用いて発達チェックを実施しているか。	17	4	1	22
	18	定期的にモニタリングを行い、「個別指導計画」の見直しの必要性を判断しているか。	20	2	0	22

(別紙:19~41)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	計
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所や保育所・こども園等と連携し、必要に応じて情報の共有をしているか。	20	2	0	22
	20	必要に応じ、母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援が行われているか。	19	3	0	22
	21	日頃から児童の発達状況や課題について保護者と伝え合い、共通理解を図っているか。	20	2	0	22
	22	保護者を対象に研修を行うなど、保護者の対応力の向上を図るための支援をしているか。	19	3	0	22
	23	小学校との交流等、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	10	1	11	22
	24	医療的ケアが必要な児童等を受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか。	21	1	0	22
	25	習志野市障がい者地域共生協議会等へ積極的に参加しているか。	20	1	1	22
	26	就学や、こども園・保育所等へ移行する場合、児童の状況や、それまでの支援内容等の情報を引き継ぎしているか。	22	0	0	22
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	20	1	1	22
	28	「個別指導計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から「個別指導計画」の同意を得ているか。	19	2	1	22
	29	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	21	1	0	22
	30	保護者会の開催等により、保護者同士の連携を支援しているか。	16	5	1	22
	31	保護者からの相談や要望について、対応の体制を整備すると共に、保護者に周知し、相談や要望があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0	0	22
	32	定期的に印刷物を配付し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか。	21	0	1	22
	33	保護者との意志疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0	0	22
	34	個人情報に十分注意しているか。	21	1	0	22
	35	開かれた事業運営を行うため、地域の行事に積極的に参加する等しているか。	13	7	2	22
非常時の対応	36	非常災害の他、事故や不審者の侵入に備え、定期的に必要な避難、救出等の訓練を行っているか。	22	0	0	22
	37	児童の生命の安全を確保するため、救急救命やエビベンに関する講習等の機会を設けているか。	21	1	0	22
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	1	1	22
	39	事前に、服薬や発作などの児童の状況を確認しているか。	22	0	0	22
	40	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	22	0	0	22
	41	ヒヤリハット事例集を作成して、センター内で共有しているか。	16	4	2	22